



准教授

坂本 俊夫

さかもと としお

作業療法学科

【専門領域】

人間医工学・リハビリテーション科学

- ・日常生活活動支援方法に関する研究
- ・福祉用具の開発に関する研究
- ・作業療法におけるスピリチュアルケアに関する研究

研究・実務の業績

1. 【学術論文】「スピリチュアルケアの要素としての作業療法についての文献検討」(査読付き) 武蔵野大学紀要人間学研究論集 (4), pp. 13-23. 2015.
2. 【著書】日常生活活動の作業療法 (藤井浩美、他編集, 分担執筆)
(第II部 日常生活活動の評価とトレーニング, C日常生活関連動作(活動)
(APDL・IADL), 1炊事), pp. 101-107. 中央法規, 2014.
3. 【著書】作業療法学全書 改訂第3版 第3巻 (生田宗博 編集, 分担執筆)
第2章 評価方法II. 身体能力の評価, 8. 循環, pp. 109-116. 協同医書. 2009.
4. 【学会発表】「片麻痺者用調理器具『おさえるん』」
第39回日本作業療法学会, 自助具遊具コンテスト, pp.86-87. 2005. (優秀賞受賞)

学生へのメッセージ

作業療法の作業とは、私たちが普段何気なく行っている、あるいは行おうとしている一つ一つの活動です。作業療法は、人々の生命や生活、人生に関わる最適なリハビリテーションの仕事の一つです。私をはじめとして作業療法を知ったのは高校生の時です。その中で作業療法士は、さまざまな生活課題を持った対象者に、生命・生活・人生での夢を共に見つけ、そして育む仕事を担っていました。その出会いが、私へ大きな感動を与え続けています。

今、私が行っていることは普段の日常生活の中の一つ一つの活動に含まれる課題の抽出とその支援方法に関する研究です。現在、高度な科学技術が私たちの社会を発展させ、生活を潤しています。その反面、その技術を使いこなすには、さまざまな工夫と利用者への支援が必要となります。そのため使用方法の工夫だけでなく、新たな福祉用具の開発についても考慮する必要があると考えています。もう一つは、普段の日常生活で見られる諸課題を私たちが解決する時に求められる、より主体的な適応を支援する方法(作業療法におけるスピリチュアルケア)に関する研究です。

私たちの専門職大学では、多様な生活者が「共生できる社会」の実現と発展を目指して、専門科目に加えてより発展的に学ぶことのできる展開科目が用意されており、とても魅力的な学校です。

皆さんも、この学校で共に作業療法という学問を学び、あなたの人生の夢を紡ぎだしてみませんか？